

Challenge of  
8  
teachers

これからの教師を探る

# 学び合い、 挑戦し続ける教師たち

巻頭の溝上慎一教授へのインタビューでは、生徒の社会へのトランジションに必要な要素として、3つの重要なポイントが示されました。

「主体的な学習姿勢の獲得」「対人関係・コミュニケーション能力の育成」、そして「将来への見通しとの接続」。これらは単純な知識移転型の教育で培うことは難しく、教える側の教師にも、これまでとは異なる何かが求められそうです。では、これからの教師に必要なもの、求められるものとは何か。

20年後には今ある仕事の約半数が自動化されるといわれるなか、ここでは変化に先んじて動き始めている8人の先生方を紹介します。

それぞれ取り組みの内容は違いますが、共通するのは生徒の主体性を育て、協働させ、社会に出た後の生徒のことを考えての取り組みのように思います。果たして8人の先生方はなぜその1歩を踏み出そうと考えたのか。

どんな想いで、何をやりがいとして取り組み、挑戦し続けているのか。新しい時代に向けて、先生方の次の1歩のヒントとなれば幸いです。

